

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名				コード	39191	広域排水計画の策定	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策				21		良好な生活環境の形成	根拠法令	一般	-	-	-	☒ 主な事業
施策の展開				39		住み良い住環境の確保	戦略事業	191	広域排水計画の策定			☐ 国土強靱化地域計画
施策の展開							戦略事業					☐ 新市建設計画
												☐ 定住自立圏構想
												☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☐ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	市域全域について、排水計画を策定する。 ・流域・流末調査 ・排水整備事業に反映する
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
合併により、旧市町区域を横断的に計画策定できる状況になったことから、より効率的な整備を行うため、市域全域を対象とした排水計画を策定する。	道路冠水対策は、局所的な排水整備では解決が困難であり、広域的な排水系統に基づいた計画整備が必要となる。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
未だ冠水被害が生じている地域があり、解消が望まれている。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (28年度の決算)	単位: 千円	単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
	-	千円	-	-	-	-	-
	-	千円	-	-	-	-	-
	-	千円	-	-	-	-	-
	-	千円	-	-	-	-	-
	-	千円	-	-	-	-	-
② 特定財源の内訳 (28年度の決算)	単位: 千円	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0
1. 国庫支出金	-	1. 国庫支出金	千円	-	-	-	-
2. 都道府県支出金	-	2. 都道府県支出金	千円	-	-	-	-
3. 地方債	-	3. 地方債	千円	-	-	-	-
4. その他	-	4. その他	千円	-	-	-	-
	-	5. 一般財源	千円	0	0	0	0

前年度	
増減理由	

従事職員数 常時 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

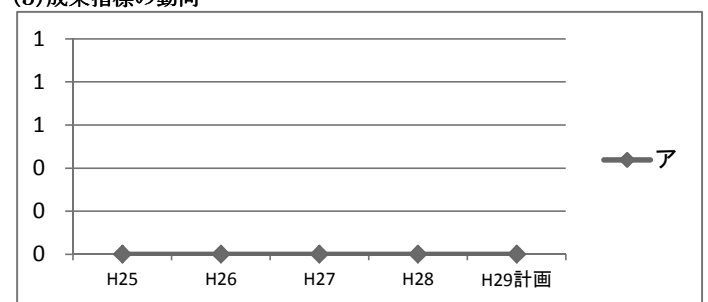
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
	28年度実績 (28年度に行った主な活動)		ア 排水計画策定	地区	-	-	-	-	-
	特になし		イ						
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
対象意図	排水計画		ア 排水整備延長	m	-	-	-	-	-
対象意図	効果的且つ経済的な排水整備		イ						
対象意図	市民								
対象意図	浸水被害の防止								

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
成果向上余地		かなりある	コスト比率		下位 1/3
大きい			①		
普通			②		
小さい			③		
			④⑤		
			⑥		
			⑦⑧	(7)	
			⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況 【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	☐完了☐順調☐概ね順調☒停滞☐実施困難 予算化しておらず、未実施のため												
	② 成果の状況 【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア 成果指標イ	成果指標 のタイプ	☐数値増＝成果向上☐向上☒横ばい☐低下 ☐向上☐横ばい☐低下	成果動向	比較	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29計画			
						ア	-	-	-	-	-			
						イ								
	③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	☒拡大☐縮小	☐現状維持☐廃止・休止	☐見直し☐その他 ()						
					未定	費用対効果を検証しつつ、状況を見極めながら計画策定を図る。								

費用対効果を検証しつつ、状況を見極めながら計画策定を図る。